



# 根岸家周辺



～おおさとまつり実行委員会作成～

# ちょこっとお散歩マップ



**★ 付近を散歩される際は 車や自転車等に十分ご注意ください**



● 寺門静軒の墓 (てらかどせいけんのはか)

熊谷市指定記念物。静軒は幕末の儒学者で妻沼・歎喜院に私塾「両宜塾」を開く。お墓は青山共同墓地の中にあります。



● 青山古墳 (かぶとやまこふん)

埼玉県指定文化財。円墳としては、さきたま古墳群の丸墓古墳に次いで県内2位の大きさです！



● 青山神社 (かぶとやまじんじゃ)

青山古墳の墳頂には八幡様の本殿が、また墳丘東側には青山神社が設けられています。

## 根岸友山(ねぎしゅうざん)とは

幕末に勤王の志士として活躍した根岸友山は、文化6年(1809年)、大里郡青山村(現・熊谷市青山)で生まれました。友山は若くから文武に優れ、自宅に道場や私塾(三余堂)を開き、村の子弟達の育成に努めました。また、洪水のたびに大きな被害を受けていた青山の田畑を守るため、荒川の改修工事や堤防工事にも尽力しました。後に友山は長州藩と深く関わり、次第に尊王攘夷思想へと傾いていきます。浪士隊(後の新撰組)に入り近藤勇らと行動を共にしますが思想的に対立、根岸家は江戸近在の尊攘派の活動の場となりました。晩年、尊王倒幕を擁護した「吐血論」を著述、明治23年に82才で没した友山は生涯、正義を重んじた憂国の志士でありました。